

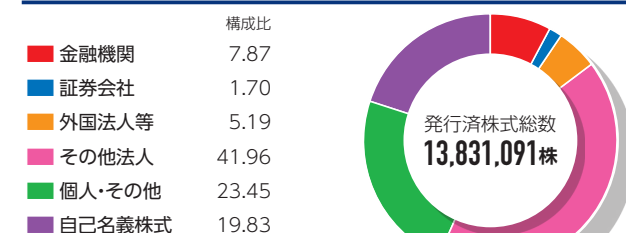
SHAREHOLDERS INFORMATION / SHAREHOLDERS MEMO

株式状況	(2023年3月31日現在)
発行可能株式総数	19,900,000株
発行済株式総数	13,831,091株
株主数	11,284名

大株主(上位10名)	(2023年3月31日現在)	
株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	4,843,938	43.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	482,500	4.35
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	375,200	3.38
株式会社第一興商	367,363	3.31
吉本興業ホールディングス株式会社	206,870	1.86
株式会社SBI証券	169,069	1.52
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	147,460	1.32
株式会社講談社	138,400	1.24
三井住友信託銀行株式会社	112,500	1.01
秋元 利規	100,000	0.90

※当社は自己株式を2,742,683株所有しておりますが、上記大株主から除いております。
 ※持株比率は自己株式(2,742,683株)を控除して計算しています。
 ※持株比率は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

所有者別分布状況(%)



※発行済株式総数 13,831,091株の構成比率です。
 ※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しています。

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
電子公告	電子公告 https://www.faiith.co.jp/ir/koukoku/ ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
公告方法	

お知らせ

- 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会には、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関にお問合わせください。
 なお、三井住友信託銀行株式会社各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行株式会社の本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の株主様と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)

免責事項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。
 本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



驚きを世界に
メディア、カルチャー
100年先をDesignする

ウェブサイトのご案内
フェイス・グループ各社のサービスや注目のコンテンツ情報、最新トピックス等を掲載しています。
<https://www.faiith.co.jp/>



Faith IR Mail サービスのご案内
フェイスのIR関連の最新情報をメールでお届けするサービス(無料配信)です。以下のURLからご登録いただけます。
<https://www.faiith.co.jp/ir/mail.html>


株式会社フェイス
 〒604-8171
 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町
 566-1 井門明治安田生命ビル
<https://www.faiith.co.jp/>
 お問合わせ先 **TEL.** 075-213-3933
FAX. 075-213-3833



Annual Report

2022.4.1 - 2023.3.31

株式会社フェイス | 第31期 営業のご報告



未来に向かって原点に立ち還り 埋もれたベンチャー精神を奪回 新回生の胎動を聴く ～新たな挑戦の始まり～

世の中の変化と自覚的に正対し 本質的な問いかけを自らに生む

コロナ禍が明け、かつての日常を取り戻したかのような様相が見られる日々の中でも、人々の価値観、ライフスタイルは大きく様変わりしています。

エンタテインメント市場においては、とかくストーリーミング配信やライブをはじめとする興行の伸びが謳われがちですが、音楽を「モノ」として流通させることを主とした、従来型の「音楽業界島」とも言え

るビジネスの遣り方は限界に近づき、島そのものが小さくなりつつあることには、自覚的に正対しなければなりません。

確かに「モノ」を起点に一気通貫で展開する音楽ビジネスのスタイルが有効だった時代もありました。しかし、新しい時代が開け始めている今、「モノ」に固執することなく、グループ全体として、新たに提供する価値をいかに考えるか、エンタテインメントに関わる事業にいかなる可能性を見出すのか、本質的な問いかけを自らに生み、新たな創造に向かう力を湧き上が

「新回生」への3つの主軸テーマ

より一層、新たな事業に挑戦しやすい経営スタイル・組織づくりへ
独自性と創造性に溢れ、もっと自由に可能性を探求できる風土の再生へ
あらゆることを根本的に変えながら、新たな音楽ビジネスの創造に向け、呼吸するグループへ

代表取締役社長

平澤 創

らせる必要があります。

そうした想いを込め、2023年4月1日付でフェイス・グループコンテンツ事業の組織再編を行いました。

見極めた自らの強み・優位性を礎に 新たな価値創造を拓く事業転身を

各セクションがこれまで培ってきたものを、より有効活用し、より新たな可能性を拓き、事業展開していくには、どこを強みとし、優位性とするのか、自らのコア・コンピタンスを見極めて定義することが不可欠です。今回の組織再編は、その自己定位を明確にするために、コンテンツ事業全体を機能分解し、より新たなことに挑戦しやすく、より自由に可能性を探求できるフォーメーションへと、チームを編成し直したイメージです。

クリエイティブ部門は、新しい音楽、新しいコンテンツの創作に集中し、ヒットアーティストの育成・ヒット作品の創出によるアーティストラインアップの充実の特化、営業部門はCDを軸とした「モノ」の営業だけではなく、エンタテインメントに関わる営業にはどのような可能性があるのか、いかなるコンテンツを創出するかを営業目線で考える。アーカイブ部門は、文化としての音楽資産、豊富なカタログ音源を

管理し、円滑な有効活用と新たな価値の創生に特化する。マーケティング部門は、従来の日本コロムビア商品の枠に囚われることなく、エンタテインメントの流通の仕方や販売方法を考え、形にしていく。

そうして明確に機能分解したチーム体制により、これまでの遣り方の当たり前に埋もれていた疑問に気づき、発想の限界、活動領域の制限を取り払い、自ら考え、新たな価値創造の道を拓くこと、ここに主眼を置いています。

自らが有する強みや資源を適応させながら、広げられる新たな可能性を追求し、事業転身への先鞭をつけること、各セクションが最も得意とする事業活動に集中・特化することで利益の最大化を図ること、同時に経営の効率化も実現させ、より強い組織体制とすること、それが今回の組織再編に舵を切った狙いです。

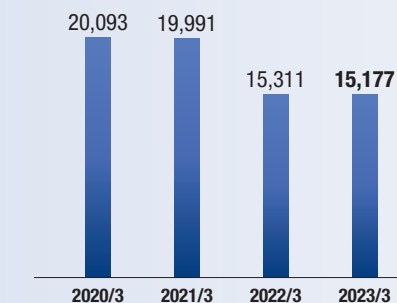
「モノ」には展開に限りがあっても、音楽そのものに限界はありません。その本質的価値を見抜くことが、次なるステージへの推進力となることを期待しています。

無限の可能性を追い掛け挑戦し続ける それがフェイス・グループ

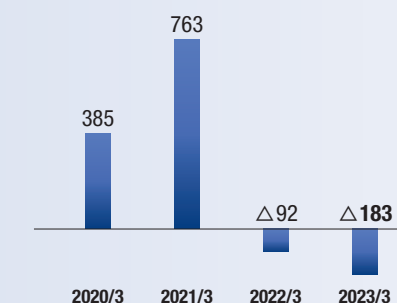
1世紀前に誕生した現音楽ビジネスの在り方は、縮小しながらも向こう5年は宿存

連結財務ハイライト

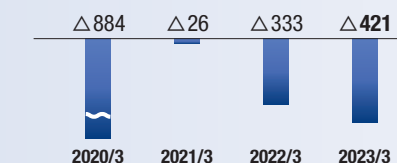
連結売上高 (単位:百万円)



連結営業利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益 (単位:百万円)





すると思われませんが、以降どのようになっていくか可能性は無限です。そこを追い掛け続け、挑戦し続けられる、それがフェイス・グループの面白さであり、特質です。

では、具体的にどのようなビジネスが考えられるのか、今、ここで語れる状況にはありませんが、その実現に向け、やるべきことは本当にたくさんあります。

フェイス・グループが追い掛け続けてい

る「音楽を伝えたい人がダイレクトにユーザーに届けられる仕組み」は依然、世界中のどこを見渡しても実現しておらず、この構想の実現に向けた挑戦三昧に身をおける今、まさに面白さの真っ只中にあります。

これまでに一世を風靡し、興隆したサービスの数々も何年もの下積みの末によく立ち上がってきたわけではなく、ある日突然、爆発音とともに一気に時流の軌道

に乗った、それが事実だと捉えています。

ですから、これまで以上に広く様々な可能性を試すことが大事な局面にあることは間違いなく、だからこそ、この時期に今一度、組織体制を立て直すことが非常に重要であると判断しました。一方で、その探求における活動は、社内だけではその数が少なすぎることから、社外にその可能性を探求する道も選んでいきます。

そのためにも投資テーマにメリハリをつけることが肝要であり、一旦、社内の新規事業も選択と集中の視点から整理し、新体制で今やるべき事業に改めて着手していくとともに、社外への投資もこれまで実施してきた要素技術などからは一旦離れ、エンタテインメントへ集中させます。

この選択と集中の視点から、新たなレギュレーションを定め、明確な基準を示しながら推進していく考えです。

シフトアップした戦略実行に不可欠なベンチャー精神を奪回しながら新たな価値創造の道を拓く

コロナ禍の前と後で、世の中の価値観、ライフスタイルは本当に大きく変わりました。エンタテインメントとは、まさに人の価値観やライフスタイルに遇する仕事であり、従前と同じ戦略を持って進むこと

は、断然、あり得ない選択となっています。

時代が大きく変わる中、当然ながら、戦略のシフトアップは不可欠であり、会社経営や組織体制のみならず、一人ひとりの社員の考え方も含め、心機一転、新しい戦略に相応しい態勢に整え直すことが緊要だと認識しています。

1つ新しいニュースとしては、この4月より、「文化×食事×場所のクロス発信」で新たな価値を提供するロケーションビジネスの一環として、ナイトエンタテインメント施設「ZEROTOKYO」(東急歌舞伎町タワー内)の運営受託を開始しました。十分にリスクを勘案した上で、フェイス・グループの強みをもって臨むビジネススタイルでスタートさせており、次なるフェーズに向かう新戦略、新挑戦の第一歩として、前進させていきます。

本当に強い企業とは、自ら変化を作り出せる企業です。建設的な失敗を恐れずに挑戦する、その原点に立ち還り、改めてベンチャー精神を発露させる企業文化をグループ全体で奪回しながら、新たな価値創造への挑戦を続けていきます。

株主の皆様におかれましては、フェイス・グループの挑戦に共感をしていただくとともに、引き続きご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

コンテンツ事業における組織再編

当社は音楽・映像関連業界の厳しい環境のもと、ヒットアーティストの育成、ヒット作品の創出によるアーティストラインアップの充実、豊富なカタログ音源の活用およびエンタテインメント事業における新規事業の更なる拡大を図るため、2023年4月1日付でコンテンツ事業における組織再編を行いました。

再編前の組織図

各社がそれぞれ独自にアセットを活用



再編後の組織図

各社機能を分解・再編し各社のコア・コンピタンスを明確化

	役割	事業内容	再編の狙い
日本コロムビア	宣伝/共通	レーベル共通サービス会社 計画編成、生産管理、スタジオ技術 宣伝、原盤権利管理	
コロムビア・クリエイティブ	クリエイティブ&マネジメント会社	制作、アーティストマネジメント ライブ制作	グループの音楽レーベルを日本コロムビアに集約させ、コンテンツ事業の管理機能を強化・効率化
ドリーミュージック	クリエイティブ	制作、アーティストマネジメント ライブ制作	
KSR	クリエイティブ&マネジメント会社	制作、アーティストマネジメント ライブ制作	
コロムビア・マーケティング	営業	フィジカルデジタル特販営業会社 デジタル配信プロモーション フィジカル営業販促、 グループ内営業集約、特販強化	フェイス子会社化により、グループの営業機能を強化
コロムビアソングス	著作権管理	出版&カタログ管理会社 出版管理 カタログ楽曲二次利用促進	グループ管理楽曲と当社保有のコンテンツ配信のテクノロジーの融合によるグループシナジー発現

フェイス子会社 新任の代表取締役紹介



どもん よしたか
土門 義隆
Yoshitaka Doman

役職
●日本コロムビア株式会社 代表取締役社長
●コロムビア・クリエイティブ株式会社 代表取締役社長(※新会社)



いのうえ とくろう
井上 得朗
Tokuro Inoue

役職
●コロムビア・マーケティング株式会社 代表取締役社長



わくい じゅん
涌井 淳
Jun Wakui

役職
●コロムビアソングス株式会社 代表取締役社長
●株式会社ドリーミュージックパブリッシング 取締役

FUNKY MONKEY BABY'S

ファンキーモンキーベイビーズ



音楽でひとつになって
いい汗をかけるライブが
僕らにとって最高の喜び

—— グループ解散からそれぞれソロ活動を経ての再始動です。ソロ活動と比べてなにか変化を感じますか？

ファンキー加藤 (以下、加藤) モンちゃんが一緒にステージに立っているという安心感があることですね。地元に戻ってきたような感覚を持ちながら、ソロの時と違って、余計なプレッシャーを感じることなく歌えます。

モン吉 足りないものっていう言い方は変かもしれませんが、お互いが必要とするものを埋め合っている感覚があります。

加藤 あとは、ソロとグループの比較とは少し違いますが、「健康一番」ということです。デビューから約20年、前身の解散から約10年たって、それだけふたりとも年をとっていますからね(笑)。明らかにスタミナが落ちてきたので、毎日ジョギングをしてキックボクシングジムに通っていますよ。

モン吉 僕は好きなラーメンを我慢しています(笑)。それこそ若いときは、1日に3、4杯も食べていましたから。

加藤 前のモンちゃんからは考えられないよね(笑)。

—— 3月29日には、再始動後初のオリジナル・フルアルバム『ファンキーモンキーベイビーズZ』をリリースされました。

加藤 ここにもやはり変化はあります。いままで培ってきた僕たちらしさだけでなく、令和という時代にフィットした新しさもバランスを考えながら取り込んだつもりです。

モン吉 僕は、自分たちのアルバムができれば毎日聴き続けるんです。毎日聴けるかどうか、良い作品になったかどうかのパロメーターだと思うんです。良いさじ加減で新しさを取り込めると、飽きずに聴き続けられますね。今回のアルバムはまさにそういう作品になりました。

—— そのアルバムからの先行デジタルシングルは、「YOU」という楽曲でした。

加藤 制作したのは、コロナ禍が長引いている中でどこかギスギスしているような時期でした。こんなときに僕たちがどんなメッセージを届けたいかと思ったら、これまでの熱く背中を押すような楽曲というよりも、みなさんのこれまでの日々を優しく包み込めるような楽曲が良いなと思ったんです。

モン吉 ジャケットやMVにカンニング竹山さんに出演していただいたのも、おなじみのキレ芸とはギャップのある優しさを持っていると感じていたからです。

—— 「YOU」にも影響を与えたコロナ禍を経て、ようやく以前の生活に戻りつつあります。

加藤 お客様の歓声の中でライブができることがなによりも嬉しい。僕らの音楽でひとつになって、一緒に良い汗をかけるというのは喜びでしかありません。

モン吉 ライブって、9割くらいがお客様につくってもらうもの。声出し制限の中でもライブはしていましたしそれにも慣れてきてはいましたが、あらためて声出し解禁後のライブを体

験すると、「やっぱりこれだ！」と思いましたね。

—— 6月からは「太陽の街ツアー」を開催されます。

モン吉 楽曲はライブで歌っていくうちにお客さんと一緒に育てていくものですから、新しいアルバムの楽曲がどんなふうになっていくのかが本当に楽しみです。

加藤 コロナ禍のあいだ、僕らもお客さんいろいろな制限をされてきました。お互い我慢していた思いを爆発させられるのですから、これまででいちばんのツアーにしたいです。

—— 最後に、株主様へのメッセージをお願いします。

モン吉 ぜひ、ライブに遊びに来てください。ふたりともなぜかライブだけには根拠のない謎の自信がありますから！

加藤 絶対に楽しんでいただけたらと思います。40代も半ばに差し掛かりましたが、健康に気をつけながらも相変わらず元氣いっぱい歌っています！



『ファンキーモンキーベイビーズZ』

2023年3月29日発売
初回限定盤 (CD+DVD)
MUCD-8173/4 ¥8,800 (税抜価格¥8,000)
通常盤 (CDのみ)
MUCD-1509 ¥3,300 (税抜価格¥3,000)

2021年の再始動後にリリースしたシングル「エール」[ROUTE 16]に加え、最新曲である先行デジタルシングル「YOU」の他、アルバム書き下ろしの新曲6曲を含む全11曲を収録。初回限定盤には、再始動後初の全国ツアー「YELL JAPAN」ファイナル公演のライブ映像を収録。

PROFILE ファンキー加藤、モン吉の2MCグループ。前身のFUNKY MONKEY BABYSは、DJケミカルを加えた2MC1DJの3人組グループとして2004年に結成。2006年、シングル「そのまんま東へ」でメジャーデビューし、「Lovin' Life」「告白」「ヒーロー」「あとひとつ」など数々のヒット曲を送り出す。2013年6月、人気絶頂の中で解散。その後、約8年のときを経て、ファンキー加藤、モン吉のふたりでの活動を発表し、FUNKY MONKEY BABY'Sと表記を変え再始動する。

全国ツアー「太陽の街ツアー」開催！

6/25(日)	岡山・岡山市民会館
7/2(日)	神奈川・神奈川県民ホール 大ホール
7/8(土)	兵庫・神戸国際会館こくさいホール
7/15(土)	香川・レクザムホール 大ホール
7/29(土)	福井・福井フェニックスプラザ
8/4(金)	東京・LINE CUBE SHIBUYA
8/13(日)	愛知・日本特殊陶業市民会館フォレストホール
8/19(土)	宮城・仙台サンプラザホール
8/25(金)	大阪・グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場 メインホール)
9/3(日)	北海道・カナモトホール(札幌市民ホール)
9/9(土)	福岡・福岡市民会館 大ホール

「太陽の街ツアー」特設サイト



会社概要

株式会社フェイス	(2023年3月31日現在)
事業内容	コンテンツ配信プラットフォームの開発 およびビジネスモデルの構築
設立	1992年10月9日
資本金	32億1,800万円
上場取引所	東証プライム市場(証券コード4295)
従業員数	116名(連結432名)

取締役および監査役 (2023年6月23日現在)	
代表取締役社長	平澤 創
取締役副社長	吉田 眞市
専務取締役	中西 正人
取締役	鈴木 千佳代
取締役	別所 哲也
社外取締役	正宗 エリザベス
社外取締役	水戸 重之
社外取締役	瀧口 匡
常勤監査役	長吉 晋
社外監査役	清水 章
社外監査役	菅谷 貴子

アドバイザー・ボードを構成する社外有識者 (2023年4月1日現在)	
島田 精一	元日本ユニシス株式会社 代表取締役社長/ 株式会社お金のデザイン 社外監査役/黒澤合同事務所 顧問/株式会社 ISE 最高顧問/ 学校法人津田塾大学 理事長/国立大学法人千葉大学 経営協議会委員・学長選考会委員/ 学校法人根津育英会武蔵学園 評議員/武蔵学園後援会 会長/ 内閣官房 産業適正に関する有識者会議 委員/ 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 評議員/ 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト 特別顧問/ 公益財団法人日伊協会 会長/公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 評議員/ 日本ヴェルディ協会 理事/
大八木 成男	帝人株式会社 名誉顧問/公益財団法人日本生産性本部 理事/ 株式会社三菱UFJ銀行 取締役監査等委員/東京電力ホールディングス株式会社 社外取締役/ アサヒグループホールディングス株式会社 社外監査役/
堀 裕	堀総合法律事務所 代表弁護士/日本ローエイシア友好協会 常務理事/ 前内閣府 公益認定等委員会 委員/みずほグループ各社 顧問弁護士/ 株式会社パソナグループ 特別顧問/フィデアホールディングス株式会社 社外取締役/ JUKI株式会社 社外取締役/在日ロイヤル・ダッチ・シェルグループ各社 監査役/ 国立大学法人千葉大学 理事・副学長、経営協議会委員/ 公益財団法人国連大学協力会 監事/ 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構 理事/ 公益財団法人渋沢栄一記念財団 理事/日本郵政グループ各社 顧問弁護士/

フェイス・グループ

コンテンツをユーザーに届けるためのあらゆる機能を有し、ワンストップサービスとしてプラットフォーム化できる企業グループです。

